

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

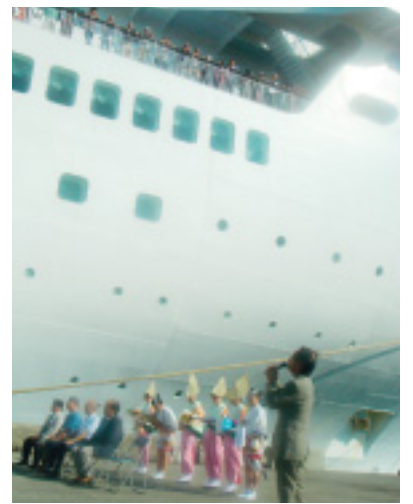
報告 大型クルーズ船が小松島に入港

今年も阿波踊りシーズンにあわせて、3隻の大型クルーズ船が徳島小松島港に入港しました。

港の繁栄や賑わいを示すデータとしては、取扱貨物量や船舶入港隻数、港への投資額など経済的な数値が一般的ですが、大型クルーズ船の寄航数はその中でも少し毛色の違う「港の品格」を示す指標の一つです。各港がこぞってクルーズ船の誘致を行っても、その港にクルーズ客を満足させる観光資源やイベント、安全に船が停泊できる岸壁と港内静穏度が確保されていないと、なかなか実現の難しいのが大型クルーズ船の誘致です。

徳島小松島港は、阿波の風光明媚な自然環境に恵まれると共に、徳島の阿波踊りは日本屈指のお祭りです。クルーズ船が入港する岸壁では、徳島名産の「すだち」や「鱧の天ぷら」、海産物の干物など土産品の試食会・即売会に加え、地元楽団による演奏、市長自らが出席しての歓迎セレモニーが行われました。乗船客は「おもてなし」を満喫した後、岸壁に並んだ観光バスやタクシーに乗り換えて、行き先別に徳島観光に繰り出します。鳴門の渦潮観光や、世界の名画を展示する大塚国際美術館などに足を伸ばすツアー、阿波踊り会場で「にわか連」に参加するツアーもクルーズ客に人気です。また、小松島の水は比較的安く品質のよいことでも知られており、クルーズ船停泊中によく船舶給水が行われるようです。

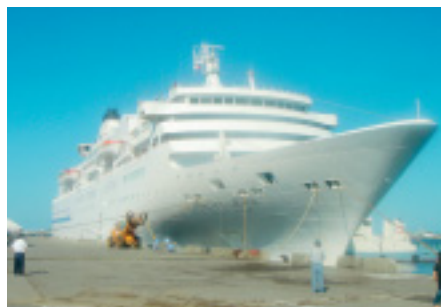
地元資源を生かした港湾整備をこれからも進め、「港の品格」の維持・向上に努めます。



◆ 岸壁での歓迎セレモニー



◆ 飛鳥II (8月11日)



◆ ぱしふいっくびいなす (8月14日)



◆ にっぽん丸 (8月15日)

INDEX▶

- みなと通信／報告「大型クルーズ船が小松島に入港」..... 1
- みなとインフォメーション／平成21年度 地方の元気再生事業、みなとまちづくりマイスター 2
- なるほどみなと講座／徳島飛行場 3
- みなと通信／報告「台風9号に伴う漂流ゴミ回収」..... 4
告知「空の日イベント」